

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行日：平成29年 3月15日(水)
(2017年)

地域企業紹介 48

株式会社広和産業

人の「和」を大切に 仕事は楽しく

医療機器や文具品等の加工・検査・包装、営業販促品の企画、セッティング・ピッキング、発送作業及び樹脂製品の製造販売など幅広いサービスを提供する株式会社広和産業の取住悦子社長を相模原市中央区小山にある本社に訪ねました。

明るいつわいで迎え入れてくれた取住社長は豪雪地帯で知られる富山県出身、3歳までの幼少の頃を過ごし、真っ白な雪だるまがあったことをかすかに覚えているという。取住社長の父であり創業者である取住勝己氏(現会長)が、かつて商社に勤務していたことから転勤が多く、富山から大阪、そして神奈川は戸塚、相模原へと勤務地が変わった。学生時代は友人から誘われてバドミントン部や弓道部に所属、また3人姉妹の長女であることから「物おじしないしっかりとした人柄」がとても印象的だ。

社会人としてのスタートは女性が活躍でき長く働ける職場として選んだファッション小売業界・アパレル業界だった。そんな取住社長が広和産業に入社したのは平成7年。当時社長であった取住会長が新規事業の受注にあたりパソコンを使える人材を必要としたことがきっかけだった。勤めていた会社を辞めて父の会社に入ることにあまり抵抗感はなく、むしろ自分が入社することで、父もまた、やる気が湧いてきたようで、自分が事業承継することが最善であると自然に思うようになったと取住社長はその当時を振り返る。

同社は取住会長が昭和58年に相模原市上溝にて創業。勤めていた商社から相模原の企業に出向し、その際、生産管理や経理を経験したことが独立するきっかけとなったそうだ。人の「和」を重んじ「仕事は楽しく！」をモットーにした経営は、取住会長が創業以来何よりも大事にしていること。受注ではお客様のニーズに可能な限り応え、基本的に仕事は断わらない方針である。

(2面につづく)

株式会社広和産業

代表取締役 取住 悦子(もずみ えつこ)

所在地：相模原市中央区小山1-2-8

従業員数：186名(パートを含む) 売上高：10億円(平成28年10月期)

事業内容：医療用品・マスク・文具用品・研磨剤・テープ製品などの加工・検査及び包装、営業販促品の企画・セッティング・ピッキング及び発送作業、樹脂製品の製造販売

また、同社が行う製品加工・袋詰め・箱詰め・発送作業という市場出荷前の一連の最終加工は前工程である生産・材料の供給・輸入の遅れなどに大きく影響を受けるが、それを理由に納期を遅らせることはしない。どんなことにもアイデアとチャンスを最大限に活かし、全社一丸となって何とかしようと努めるところが広和産業の大きな強みだろう。

同社に入社後の取住社長は仕事をしながら社労士・行政書士の資格を取得し、30代で中小企業診断士の資格も取得した。経営に必要な知識やスキルを身に付けていこうとする姿勢がそこうかがわれる。まさに取住社長のポジティブで内に秘めたチャレンジ精神と実行力の強さを感じさせられる一面である。そして入社後12年間の実務経験を経て、平成19年に代表取締役社長に就任された。就任当初は自ら何でも行ってしまう自分に取住会長から「社員に任せることも大事」「社長は細かいことに口を出さない」と叱咤激励を受けたそうだ。

その後、リーマンショックの影響を受けながらも平成21年に医療機器製造業認可、続いて平成25年に化粧品製造業認可を取得。

事業領域の裾野を広げつつ新規取引先の拡大を図るなど、常に前向きな経営戦略を展開してきている。

平成27年には、相模原市によるロボット導入支援事業の「ロボット導入補助金」を活用し、産業用ロボットによる包装加工機への「供給自動化システム」の導入を実施した。生産性・効率性向上は勿論のこと、社員の改善意識などが高まったことも大きな成果だという。

現在、同社では約150名の女性パート社員が在籍している。家事や子育てと仕事を両立させている女性パート社員に日頃から気を配る取住社長。パート社員の福利厚生充実などにも積極的に取り組んでいる。まさに女性経営者ならではの視点だろう。「仕事は楽しく！」をモットーとして先代から引き継いだ財産をしっかり守り、これからも人の「和」を大切にしたい経営を目指していきたいと語る取住社長。これからも女性経営者の良きお手本として、地域産業界をリードして欲しいと願っています。

革新が求められる分野に挑戦！

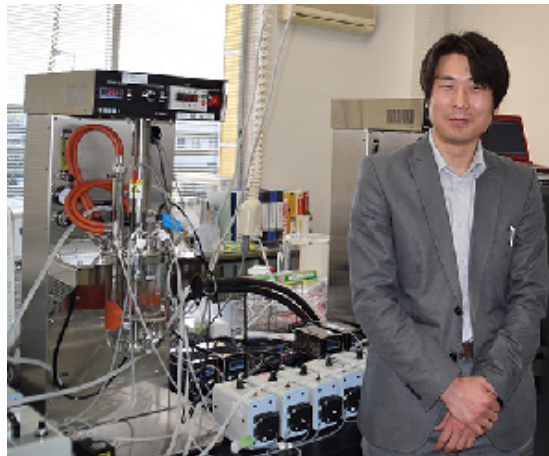
株式会社シバタ

株式会社シバタの新規事業部門であるSICラボの責任者であり、営業と研究開発を担当されている田中さんにお話を伺いました。

本社(東京都新宿区)から研究開発のため相模原市内にある研究所に出入りすることが多く、また、上田事業所(長野県上田市)との中間地点でもある為、利便性の良いSICに入居しました。専用の機器が整ったラボでは、微生物による水質浄化制御システムの開発に向けた実験を進めています。

当社は、1995年の創立以来、電線及び電線加工品の専門商社として、独自の情報網を強みに成長し、現在ではアジアに4拠点を擁しております。その中で、2013年に新たに水処理・環境事業部を発足させ、メーカーとしての事業もスタートいたしました。本事業部は、水処理装置を主体とした設計や製造のものづくり技術を基礎としながら、これまでに開拓した海外の販路を活かした事業展開を目指しています。

当社の手掛ける電線材料は、スマートフォンやスピーカーなどの電子機器類を構成する部品として幅広く使用されており、これまでに蓄積したユーザーニーズの



解決ノウハウを強みとして、それに応えるため果敢に取り組んでいます。一方、独自のステンレスワイヤーフィルターを採用した液体ろ過装置(MSフィルター)は、食品・化学分野において多数の納入実績があり、最近では海外においても採用事例が増えてきています。さらに、MSフィルターの周辺事業拡大のために排水処理事業の展開も図っており、オンサイト再生型活性炭処理装置の販売にも注力しています。

後発であることがむしろ顧客のニーズに徹底的に向き合えるため、SICラボではこれらの事業展開に取り組みながら、さらに新しい一歩を踏み出すために微生物による水質浄化制御システムの開発も進

めています。排水処理現場がもっと楽に、そして少しでも環境保護に繋がる装置やシステムを創り出すために、日々の研究開発に取り組んでいます。



株式会社シバタ SICラボ
SIC-1 214号室
TEL: 042-703-4641
URL: <http://www.shibata.co.jp/>



観光資源の調査と観光コンセプトの提案 「やらねば!半原PROJECT」

美術デザイン系大学が集積する相模原市・橋本の特徴を生かし、クリエイティブの力で地域を盛り上げようと、相模原周辺エリアで活動する多摩美術大学卒業生が中心となって、2015年に「橋本デザイン会議」が発足しました。

橋本デザイン会議では、さがみはらエリアの企業と発表の場を求めているクリエイターとの出会いの場を設け、地域のビジネスを活性化させる有効な切り札としてクリエイティブの力を紹介する活動を目指しています。今回は活動の一部をご紹介します。

若い力の発掘と、企業と学生の交流の機会づくり 「HDM バイタリゼーションデザインアワード」

地域企業の特徴や悩みから、「デザイン」で解決するテーマを設定し、学生クリエイターから多様なアイデアを募りました。企業が事業の発展を目指して託したテーマに、学生の若い感性で問題解決のアイデアを探る取り組みです。企業と学生の新しい交流の場として多くの機会を作っていきます。

観光資源の調査と観光コンセプトの提案

神奈川県愛川町の外郭団体である(財)繊維産業会方々と一緒に、愛川町の新たな観光資源を発掘するための地域おこしプロジェクト「やらねば!半原 PROJECT」を提案しました。地域の協力を得て、学生とデザイナーがフィールドワークを行い、体験や発見をワークショップを通してまとめました。その後、観光資源の再発見と観光のコンセプトの提案を行いました。

デザインやクリエイティブ文化の醸成

「デザインの教室〜じぶんえんぶれむ〜」

小学生を対象としたエンブレム作りのプログラムを大学生とともに作り上げました。まず自分の名前を元に下絵をつくり、それを元にエンブレムシールを作るクリエイティブ体験のプログラムです。



広報担当者や、デザイナー、クリエイター対象の勉強会

企業の広報担当者や、デザイナー、クリエイティブ関連の方にむけた、勉強会を不定期で開催しています。昨年は「商標」をテーマに、特許事務所から講師をお招きし、商標調査について開催しました。

その他、橋本デザイン会議では、2016年から企業と学生デザイナーを繋ぐ「クライアントワーク推進部」という取り組みをしています。橋本デザイン会議のディレクターが学生をサポートしながら、実際に企業のデザイン業務を学生が担います。これは、地域企業、デザイナー、クリエイター、学生など分野を横断した繋がりから生み出される価値を探る取り組みです。



橋本デザイン会議
<http://hd-mtg.jp/>

焼き鳥もつ鍋 一揆

今回はSICから徒歩5分の「一揆」を訪問しました。お店は一昨年の10月にオープンし、九州料理と品揃え豊富な日本酒が味わえます。気さくな店長の岩本さんからおススメを教えてもらい、白味噌もつ鍋・チキン南蛮・焼き鳥をいただきました。次々と出てくる料理についつい腹十分目まで食べちゃいました。コース料理も用意されており、宴会・貸切(最大40名まで)も可能です。おいしい九州料理と自慢の日本酒、ごちそうさまでした。(大谷)

神奈川県相模原市緑区西橋本5-1-2 ハタノ第2ビル 電話:042-774-0088
営業時間:17:00~24:00(L023:00)



中央 店長の岩本さん



白味噌のもつ鍋

SIC
食のさんぽ道



焼き鳥



サガツクナビとは、「地元企業の採用の円滑化」と「地元企業を志望する学生の就職活動の円滑化」を目的に、地元企業と学生の出会いを“作り”“つなぐ”活動を行っている地元密着型の採用及び就職支援サービスです。

SICは、平成21(2009)年度から「企業訪問ツアー」「企業、大学、学生の交流会」「企業PR冊子の制作、出版」など、地元企業の魅力を発信する事業を実施し、そこから得られた企業の採用ニーズ、学生の就職ニーズなどをもとに、平成26(2014)年度から地元密着型の採用および就職支援サービス「サガツクナビ」の提供を開始いたしました。昨年度からは、入社後の「定着率の向上」や「早期の戦力化」などの課題解決に資するサービスとして「新入社員&フォローアップ研修」の提供を開始しました。サガツクナビでは、採用から定着・育成を一体的に提供しています。

<http://sagatukunavi.com/>



会員企業を
募集しています

登録する

サガツクナビでは、参加企業の募集をしています。企業情報、求人情報の掲載をはじめ、地元企業と学生を繋ぐイベント情報、地元大学生の新卒採用に役立つ情報をお送りしています。会員企業を募集しています。

<http://sagatukunavi.com/2018/>

2017.3 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

3月15日(水)	The HINT33(SICミニセミナー)
	事例で学ぶ!!失敗しない“契約”の結び方
3月17日(金)	ロボットIEセミナー
3月24日(金)	サガツクナビ ジョブミーツ11th(町田会場)
4月4日(火)	サガツクナビ ジョブミーツ12th(橋本会場)
4月6日(木)~	平成30年2月23日(金)みんなで一人前の社会人になる研修
6月17日(土)~	平成30年2月3日(土)2017 SIC経営塾

入居企業を募集しています。

SIC空室情報 (平成29年3月15日 現在) ※お気軽にお問い合わせください。

部屋	空室数	賃料/月額 (共益費込・消費税抜き)
SIC-1	○スモールオフィスB(17.3㎡)	1 64,200円
	△スモールオフィスB(17.3㎡)	1 64,200円
	2017年4月以降入居可能です。	
	○セミラボB(35.5㎡)	2 98,400円
SIC-2	空室はありません	-
SIC-3	空室はありません	-



合同就職説明会を
開催しています

参加する

地元で働きたい就活生と、相模原近隣を中心とした採用活動中の地元企業との出会いの場としてサガツクナビ合同就職説明会を開催しています。

<これからの開催予定>

ジョブミーツ12th

日時:平成29年3月24日(金)

場所:町田市民ホール 第4会議室

ジョブミーツ13th

日時:平成29年4月4日(火)

場所:社のホールはしもと 多目的室

※両日共に、参加企業・参加就活生を募集しています。

<http://event.sagatukunavi.com/jobmeets/jobmeets.html>

SWITCH!

意識を変える!視点を変える!
そして、未来を創造する!

みんなで一人前の
社会人になる研修。

出会う

地域に同期が
いっぱい

新入社員&フォローアップ研修

これまでとは違う世界に戸惑う新入社員の「プラス思考で前向きに進もうとするマインド」を育てたいと強く願っています。若い力を躍動させるために、本研修をご活用下さい。

日程:平成29年4月6日(木)~平成30年2月23日(金) 全5回

対象:平成29年4月入社の新入社員の方

受講料:98,000円(消費税別。教材費、情報交換会費含む)

場所:さがみはら産業創造センター他

お問合せ、掲載希望、参加希望等がございましたら担当までご一報ください。詳細についてご説明に伺います。説明を聞いていただいたうえで利用や参加の可否を決定ください。

詳しくは、SICホームページをご覧ください。

<http://www.sic-sagamihara.jp>

編集
後記

3月は区切りの月、卒業式の季節は河津桜が満開で(橋本公園)次へ繋ぐ葉桜へと姿を変えていきます。4月は門出を祝ってくれるかのようなソメイヨシノの満開が楽しみです。忙しい中でも、あたりまえの行事で季節を感じる事が出来る、一呼吸おける余裕を持ちたいものです。さあ、SICも深呼吸をして新年度の準備をすすめてまいります。ご期待ください。



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を
お待ちしております。

ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>